

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	49	利用者一人一人に即した日常的な 外出支援ができていない。	・利用者一人一人の意向や要望をくみ取りながら、個々の外出支援を充実させる。	・地域の行事、催し物にはできる限り参加する。 ・一人一人に即した外出支援の方法をスタッフで話し合う ・外出の機会を増やす。	9 か月	地域の行事や催しなどには出来るだけ参加した。スタッフで話し合い、少しずつではあるが、個々の外出支援が出来てきている。
2	13	所内研修の実施が少なめであった。	・定期的に所内研修を行うことにより、職員個々のスキルアップを目指す。	・どんな研修をしたいかを職員と話し合う ・毎回職員に研修の一部を担当してもらう ・外部研修に一人1回以上参加する	9 か月	2ヶ月出来なかつただけで、それ以外の月には所内研修を実施できた。職員に担当してもらう事はなかったが、外部研修に参加した職員には研修報告をしてもらった。
3	36	排泄用品の置き場所や、配置について配慮に欠けていることがあった。	・利用者のプライバシーを守る。	・排泄用品の置き場所・置き方を工夫し、利用者のプライバシーを守ることを、職員間で徹底する。	1 か月	排泄用品の置き場所や置き方を考えた。また、プライバシーを守るために、工夫し、排泄用品とわからないように、カーテンや箱等でカバーリングを行った。
4	35	災害対策の中の地震による訓練ができていなかった。	・消防避難訓練だけでなく、地震訓練も実施することで、より防災意識を高める。	・消防避難訓練時に、地震訓練も行い、消防署員の方に質問、相談をしてアドバイスを受ける。	9 か月	4月の消防訓練時に消防署員に相談し、10月の消防訓練時には、地震を想定した訓練も行った。また、終了後には消防署員のアドバイスも受けた。